

令和2年度執行目標（達成状況） 健康福祉部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目 (単位)	根拠計画等	R2年度 目標値	R2年度 実績値
健康福祉部	社会福祉課	1	木津川市障害福祉計画（第6期）・木津川市障害児福祉計画（第2期）の策定	木津川市障害福祉計画（第5期）・障害児福祉計画（第1期）が令和2年度で計画満了を迎えることから、障がい児・者へのサービスの提供体制の確保や、各年度のサービスの種類ごとの必要な量の見込みなどに関する障害福祉計画（第6期）・障害児福祉計画（第2期）を策定する。	概ね達成	概ね年間スケジュールに沿って計画策定作業を実施。令和3年度から令和5年度までの3か年について、今計画に基づいて、木津川市の障がいのある方への施策を実施していく。				
健康福祉部	社会福祉課	2	児童手当認定事務の効率化	限られた人員のもと、限られた期間に児童手当の認定事務を行うにあたり、RPAを活用した作業時間の短縮や正確な処理の実現などにより、定型業務の負荷軽減・効率化を行い、働き方改革の実現、市民サービスの向上を目指す。	概ね達成	現況届の提出にあわせ6月にシステム導入予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策により業者選定が遅れ、7月に稼働開始し、AI-OCRでの読み取り、RPAによる自動入力を行った。今後、様式レイアウトの変更など次年度に向けた改善を図っていく。	業務削減時間数（時間）		211	126
健康福祉部	くらしサポート課	1	「就労支援促進事業活用による自立支援」の強化	稼働能力を有する被保護世帯に対して、就労支援員を配置し専門的な就労支援を行う。また、被保護者の個別事情に合わせた就労支援及び就労準備支援等を行い、継続就労ができるよう支援する。離職者に対する就労面談を強化し、対象者に適したハローワークからの求人情報を検討、就労支援を行う。	概ね達成	支援対象者68名のうち令和2年度新規支援対象者15名。一方、継続支援対象者53名は個々が抱える課題等により就労や就労継続が厳しく、その割合は年々増加している。加えて、令和2年度は有効求人倍率の低下にあっても、支援対象者の意欲、就労支援員やケースワーカーの支援により支援対象者14名の就労に繋がった。【就労決定者数14名。就労・収入増での保護廃止9名】	就労決定者数（%）		50	21
健康福祉部	くらしサポート課	2	生活困窮者自立支援事業の推進	稼働年齢層の生活困窮者に対し、就労支援員による寄添い支援や多方面の支援を通じて困窮状態からの脱却を目指す。また、就労準備支援が必要な離職者や未就労者、ニート・ひきこもり等について、よりきめ細やかな支援を行うために各種支援事業所や市周辺事業所等の協力関係や連携を強化し、自立生活に向けての支援や就労意欲の向上を図る。生活困窮者・被保護者世帯の子どもの学習支援により、学習の機会を与え貧困の連鎖とならないよう対策を講じる。今年度から家計に課題を抱える生活困窮者に対し、家計に関する相談支援や家計管理の支援を行い、早期に生活が再生されることを目指す。	概ね達成	生活困窮者への就労・就労準備・就労継続支援を実施。自立相談支援では支援機関等の地域連携として「ひきこもり支援機関チーム絆」や社協から相談窓口へのつなぎ事例があるなど一定の成果を得た。また、部内に検討会議を設置し、複合的な課題を抱える世帯への相談支援体制整備に関する協議を実施。今後も困窮者の多様な課題に対応するため、関係課や関係支援機関との連携を一層深め、困窮者に寄り添った支援に取り組む。	今年度就労・増収者数/要就労・転職支援者数（%）		75	38
健康福祉部	高齢介護課	1	地域包括支援センターの実地指導の実施	介護予防支援事業について、市が地域包括支援センターに介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務等を委託し、また指定介護予防支援事業所として指定を行っている。その適切な事業運営を図るため、定期的に実地指導を行う。令和2年度は地域包括支援センター木津東と地域包括支援センター木津西、地域包括支援センター加茂の実地指導を行う。	概ね達成	予定どおり各地域包括支援センターの実地指導を実施し、それぞれの支援業務等において互いに確認を行い共有を図った。（木津東：9月30日、木津西：10月29日、加茂：11月26日）地域包括支援センター山城については、事業者が変更されたこともあり、新年度において実施予定。	実地指導事業所数（カ所）		3	3
健康福祉部	高齢介護課	2	第9次木津川市高齢者福祉計画・第8期木津川市介護保険事業計画策定	令和元年度に実施した高齢者実態調査の結果を踏まえ、第9次木津川市高齢者福祉計画・第8期木津川市介護保険事業計画を策定し、令和3年度から令和5年度までのサービス等の見込み量の推計を行い、介護保険料を設定する。2025年までのサービス・給付・保険料の水準も推計し、高齢者がピークを迎える2040年も見据えつつ、中長期的な視野に立った施策の展開を図る。	優秀に達成（困難事項・成果大等）	次期計画内容の検討と保険給付の見通しを立てるため、木津川市介護保険事業計画等策定委員会を開催した。高齢化による要介護（支援）認定者の増加に伴う介護サービス利用の増加を見込み、次期計画期間の介護保険料を決定した。今後も介護保険事業における保険給付の円滑な実施が確保されるよう、高齢者がピークを迎える2040年を見据え、中長期的な視野に立った施策の展開を図る。				
健康福祉部	健康推進課	1	第2次すこやか木津川21プランの策定	健やかで心豊かな生活の実現と健康寿命の延伸を図ることを目的として平成23年度に策定した木津川市健康増進計画・食育推進計画「木津川市すこやか木津川21プラン」の第2次計画を令和2年度から2か年かけて策定する。今年度は市民を対象にアンケート調査を実施し、データ分析から10年間の成果の検証及び現状把握を行う。なお、アンケート調査回収率向上のため、調査理由を明確にし、答えやすい内容・質問にするなどの工夫を検討していく。	概ね達成	令和2年10月1日時点で住民票がある3歳・8歳・13歳・18歳以上の方を対象にアンケートを送付（回収期間：12月1日～12月18日）。回収率は、子ども48.6%、成人57.7%であった。各年代ごとのアンケートの結果を踏まえ、令和3年度に次の10年間の計画を策定する。	アンケート調査回収率（%）		対第1次計画アンケート調査回収率比向上	53
健康福祉部	健康推進課	2	子育て世代包括支援センターの充実	今年度は、妊娠後期の全妊婦に電話連絡をとり体調把握に努め、相談支援の強化を図るとともに、令和2年1月から開始している産後ケア事業の周知と産前産後の支援体制を強化する。	概ね達成	産後ケア事業について、周知を図り、実人数11件、延べ35件の利用があった。また、個別の妊婦に対しては、必要時に支援会議を開催し支援を行った。令和3年度からは、産婦健診を実施するために予算化したことで、妊娠期から産後までの一連の支援を整えることが出来た。	産後ケア事業利用日数（日）	第2次木津川市総合計画	96	35